

進研Vもし 進研Sテスト

生徒用



特色



安定した母集団と偏差値評価

「進研Vもし」「進研Sテスト」は近畿圏の様々な学力レベルや生徒数の塾で実施されており、受験者数(母集団)は塾専用テストとしては最大です。中学1・2年生では各回約1~2万人、中学3年生では各回約1~4万人が参加します。その母集団から算出される偏差値は極めて精度の高いものです。成績結果が出たら自分の学力位置を正確につかんで今後の学習に役立ててください。



十分に検討された出題内容

テスト問題の難易度は標準的なレベルで作成されており、けっして難問や奇問が出題されることはありません。日ごろから学校や塾でしっかり勉強していれば、ある程度は得点できる構成になっています。しかし、入試問題を意識したやや難しい問題、思考力や表現力を問う問題なども出題されますので、大いにチャレンジしてください。



きめ細かな学力分析資料

テスト実施後の答案は、「デジタル採点」によって行われ、各小問の正誤をすべてデータとして取り込んでいます。そのため非常にきめ細かい学力分析結果が「答案分析表」に表示されます。どの分野のどの問題を間違えたか、今後の勉強の大きな指針になります。



志望校診断の客観性と信頼性

中学2・3年生「進研Vもし」も中学1・2年生「進研Sテスト」も私立高校、公立高校の合格可能性診断を行います。昨年度入試の結果から来年度入試の志願者動向を踏まえ、客観的な合格可能性判定が成績に出されます。公立高校は内申と偏差値のマトリックスから、私立高校は棒グラフから判定が割り出されません。入試を間近に控えた中学3年生だけでなく、中学1・2年生のみなさんも将来の目標となるでしょう。



美しく見やすい成績帳票

成績表は、最高水準のコンピュータプログラム技術とオンデマンド印刷技術により初めて可能になったものです。フルカラーによってビジュアル表現された「個人成績表」「答案分析表」は単に美しいだけでなく、みなさんのテストに取り組む意欲を一層高めることでしよう。



豊富な進学情報

成績表に反映される各高校の受験情報や学校情報の正確さと豊富さは、このテストならではのものです。入試データは常に最新のものを収集して更新しており、受験生の志望校選びに必要な情報をきめ細かく提供します。特に中学3年生は参考としてください。

中学1・2 対象



成績表 (A3サイズ)

①テストの結果

各科、3教科、5教科それぞれの得点、平均点、10段階評価、偏差値のほか、「偏差値のプロフィールと換算表」の棒グラフによって、成績結果(偏差値)が前回と比較しながら読み取れるようになっています。

②メッセージ

各受験生ごとにテスト結果を総評します。次のテストに向けての心構えや学習の指針に役立ちます。

③順位

府県や学区等、その地域の3年生の在籍者全員が受験した場合をコンピュータが推算出します。実受験者順位だけの母集団の学力層の偏りを補正します。

④出題内容ごとの成績

コンピュータに答案の小問ごとの正誤を全問入力、一人ひとりの弱点を領域別にきめ細かく分析しています。

⑤志望校の診断(6校)

合格判定はA~Eの5段階に分けて判定されます。

A 90%以上 **B** 80~70% **C** 60~50% **D** 40~30% **E** 20%以下

志望校は、公立高校・私立高校をあわせて6校まで選択できます。公立高校の診断は、横軸に偏差値、縦軸に内申点のマトリックスから読み取ることができ、傾斜配点や入試科目にもきめ細かく対応しています。私立高校は合格可能性を専願、併願別に判定します。棒グラフの青は合格者、赤は不合格者を示し、ひと目で自分の偏差値の位置がわかります。

⑥成績の推移

受験した進研Vもしの成績の推移や平均偏差値、合格可能性結果(第1~第4志望校)の履歴が表示されます。

⑦あなたの学力に見合う公立校・私立校

「努力校」は努力次第で合格の可能性がある高校、「実力相応校」は、現在の学力に見合った高校、「安全校」は、90%以上の合格の可能性があるとと思われる高校を表示しています。



答案分析表 (A3サイズ×2)

①受験登録シート

科目別に出題されたポイントと事後の学習へのアドバイスが表示されます。

③付録の学習手引(弊社HPに掲載)

国・数・英の理解すべき問題番号を選び出し表示します。『付録の学習の手引き(問題集)』で復習することが可能です。

④各科答案用紙

各問のグラフは、正答率の高い順から表示されます。同等の学力を持った他の受験生の正答率と比較しながら、領域別・小問別に出来・不出来が把握できます。

⑥一言アドバイス

正答率の低い2領域について注意すべき事柄や勉強法をコメントしています。

中学1・2 対象





成績表 (A3サイズ)

① テストの結果

各科、3教科、5教科(小学生は2~5教科)それぞれの得点、平均点、10段階評価、偏差値のほか、棒グラフによって、成績結果(偏差値)が前回と比較しながら読み取れるようになっています。

② 偏差値の推移

各科目別に過去の受験した進研Sテスト(中学2年生は進研Vもしを含む)との成績や平均偏差値の推移が折れ線グラフで表示され、成績の推移が見取れます。

③ メッセージ

テスト結果を総評。次回のテストへの対策をアドバイスします。

④ 順位

府県や学区等、その地域の同学年の在籍者全員が受験した場合をコンピュータが推計算出します。実受験者順位だけの母集団の学力層の偏りを補正します。

⑤ 成績チャート

今回と前回の成績比較を教科別に見ることができます。(中学生のみ)

⑥ 出題内容ごとの成績

単元・領域ごとに到達度(正答率)を棒グラフとバランスチャートで分析します。中学生は「最大8領域」、小学生は「最大6領域」を表示。

⑦ 志望校の診断(中学生は4校、小学生は2校)

合格判定はA~Eの5段階に分けて判定されます。



公立高校の診断は、横軸に偏差値、縦軸に内申点のマトリックスから読み取ることができ、傾斜配点や入試科目にも対応しています。私立高校の診断は、合格可能性を専願、併願別に判定します。棒グラフの青は合格者、赤は不合格者を示し、ひと目で自分の偏差値の位置がわかります。

⑧ あなたの学力に見合う学校(中学生のみ)

「努力校」は努力次第で合格の可能性のある高校、「実力相応校」は、現在の学力に見合った高校、「安全校」は、90%以上の合格の可能性があるとされる高校を表示しています。



答案分析表 (A3サイズ×2)

① 受験登録シート

② 出題のねらい

科目別に出题されたポイントと事後の学習へのアドバイスが表示されます。

③ 各答案用紙

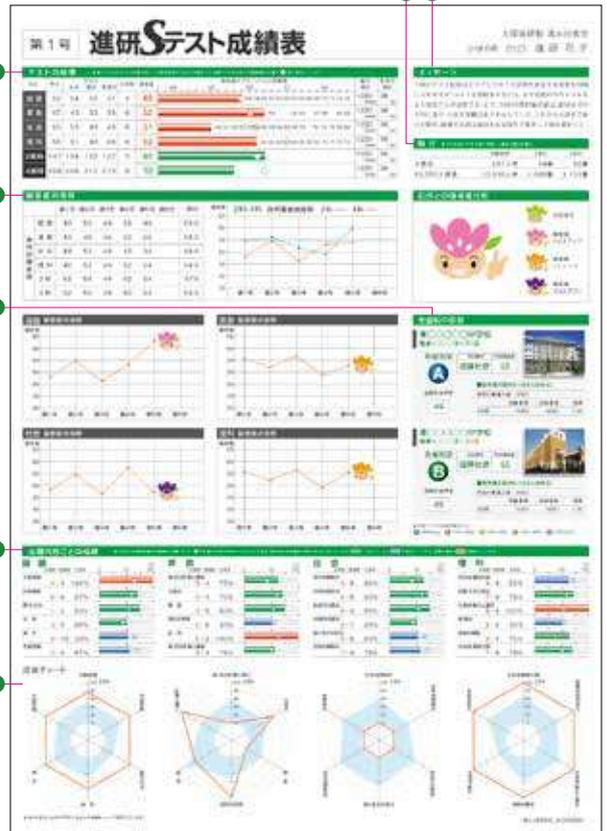
④ 小問別成績

各問のグラフは、正答率の高い順から表示されます。同等の学力を持った他の受験生の正答率と比較しながら、領域別・小問別に出来・不出来が把握できます。

⑤ 一言アドバイス

正答率の低い2領域について注意すべき事柄や勉強法をコメントしています。

小学3・4・5・6 対象



小学3・4・5・6 対象



「進研Vもし」「進研Sテスト」は、

近畿圏の大変多くの学習塾で実施されています。日ごろ塾内で行われる小テストと異なり、多くの塾の生徒が参加してその中での成績が出されます。そして、みなさんが塾で勉強した学習の成果を、偏差値や順位、領域別の成績などで客観的に測定し評価します。このテストが学習塾で実施されるようになり、多くの先輩たちがテスト結果を元に今後の勉強の指針とし、志望校合格への重要資料として役立ててきました。

みなさんの学習塾でも

「進研Vもし」(中2、中3)「進研Sテスト」(小3～中2)を本年度の年間計画に取り入れて実施を予定されていると思います。

このテストの成績は、

塾での懇談用資料として使われるだけではなく、志望校の合格可能性を診断する大変重要なテストですので、真剣に取り組んでください。また、中3の公立準拠模試は出題内容・形式・実施時間等ともに実際の入試問題に準拠していますので、公立入試のより正確な判定資料となるでしょう。各テストともにより成績が取れるように日ごろからしっかり勉強して実力を養っておきましょう。

実施要項

■ 実施場所： 学習塾・会場(私立高校など)

■ 実施時間：	進研Vもし(中2・3)	国語45分	数学45分	英語45分	社会40分	理科40分
	府県別Vもし(中3)	各科目とも入試に準拠				
	進研Sテスト(中1・2)	国語45分	数学45分	英語45分	社会35分	理科35分
	進研Sテスト(小3～6)	国語40分	算数40分	英語40分	社会35分	理科35分

※小学生の英語は小5・小6の3・5号のみ ※小3・小4は国・算の2科

■ 満 点： 各科目100点(府県別Vもしは入試に準拠) ■ 出題範囲： 履修範囲

■ 実施時期：

進研Vもし(中2・3)

第1回	第2回	特別回	第3回	第4回	第5回	第6回	中2Vもし
3月末～4月中	5月末～6月中	7月初～7月末	8月中～9月中	9月末～10月中	10月末～11月中	12月中～1月中	12月末～3月中

府県別Vもし(中3)

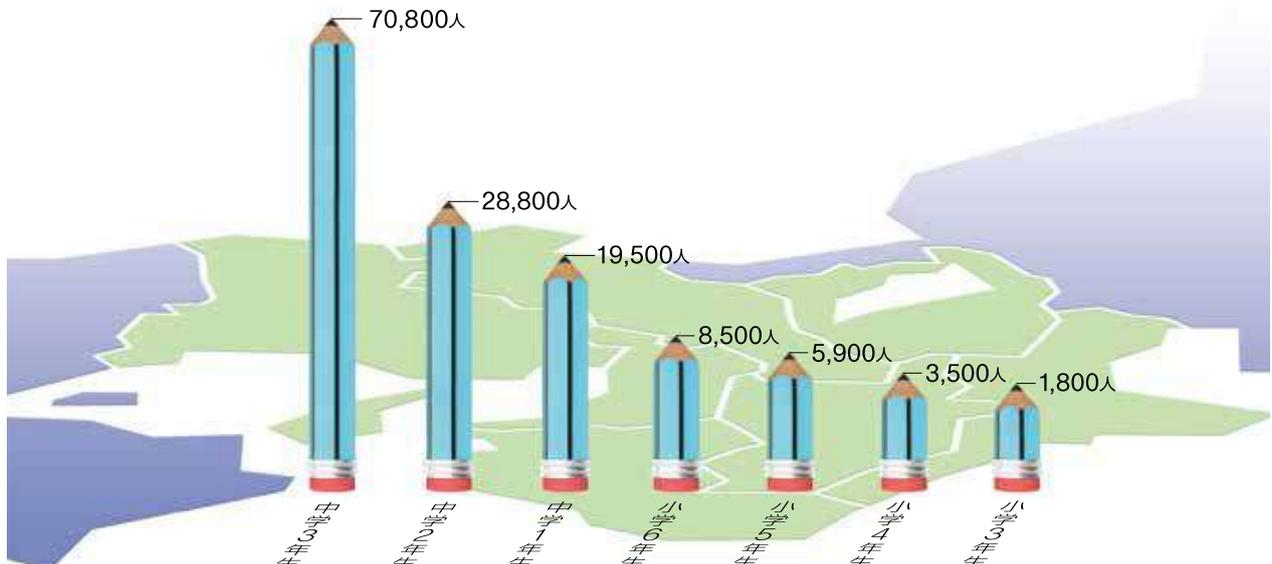
京都 特別回 第1回 第2回	滋賀 第1回 第2回 第3回 第4回	大阪 大阪公立 特別回 第1回 第2回 第3回	兵庫 第1回 第2回 第3回	奈良							
8月中～9月中	10月末～11月中	1月初～1月中	6月初～9月中	11月初～11月中	1月初～1月中	1月初～2月中	8月中～10月初	10月中～11月中	12月初～12月中	1月初～1月中	1月初～2月中

進研Sテスト(小3～中2) 小3は1号・3号・5号のみ

第1号	第2号	特別号	第3号	第4号	第5号	第6号
3月末～5月中	5月末～7月中	6月中～8月中	8月中～10月中	10月末～12月中	12月末～1月中	2月初～3月中

※実施テストの時期・出題範囲等について、詳しくは塾の先生にきいてください。☎ …会場受験があります。

■ 近畿圏の学年別受験者数 進研Vもし・進研Sテストは近畿圏の多数の学習塾で実施されています。年間の参加塾数は5,200(塾・教室)。受験者数は図のようになります。※受験者数は年間複数回受験した生徒の場合も1人とします。



偏差値の見方

「偏差値」というのは、あなたの成績が府や県といった大きな母集団の中で平均からどのくらい偏っているかを表している、モノサシの役目をしている値です。いつのテストでも、平均(真ん中)を50と定め、51,52,53…と数値が大きくなるほど平均を上回り、49,48,47…と小さくなるほど平均を下回り、自分の学力位置がはっきりわかります。問題の難易度に関係なく、どのテストについても、どの教科についても、“全体の中での相対的な位置”を知ることができるのが、一番の長所です。

特に、大阪進研の偏差値はどのテストの場合でも府県内の生徒のほぼ全員が受験したことを想定して、偏差値を毎回同一基準で比較して見ることができるのです。右の表は10段階評価と偏差値と上位からの%(位置)の関係を表しています。自分のとった偏差値と上位からの学力位置を、この表からしっかりと読み取ってください。

10段階	偏差値	上からの%
10 (3%)	75	0.6
	74	0.8
	73	1.0
	72	1.3
	71	1.7
	70	2.2
9 (4%)	69	2.8
	68	3.5
	67	4.4
	66	5.4
8 (9%)	65	6.6
	64	8.0
	63	9.6
	62	11.2
7 (15%)	61	13.5
	60	15.8
	59	18.4
	58	21.1
6 (19%)	57	24.1
	56	27.4
	55	30.8
	54	34.4
5 (19%)	53	38.2
	52	42.0
	51	46.0
	50	50.0
4 (15%)	49	54.0
	48	58.0
	47	61.8
	46	65.6
3 (9%)	45	69.2
	44	72.6
	43	75.9
	42	78.9
2 (4%)	41	81.6
	40	84.2
	39	86.5
	38	88.8
1 (3%)	37	90.4
	36	92.0
	35	93.4
	34	94.6
	33	95.6
	32	96.5
	31	97.2
	30	97.8
	29	98.3
	28	98.7
	27	99.0
	26	99.2
	25	99.4



受験マン



近畿圏の高校受験専門情報サイト

「受験情報Vスタジオ」 <https://vmoshi.com>

※生徒の氏名やテスト成績など弊社が得られた個人情報、個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。

株式会社大阪進研

2022

